

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月30日 (2016.6.30)

【公開番号】特開2014-228715(P2014-228715A)

【公開日】平成26年12月8日 (2014.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2014-067

【出願番号】特願2013-108593(P2013-108593)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/1345 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 2 1 M

G 0 9 G 3/20 6 2 3 Y

G 0 9 G 3/20 6 2 3 R

G 0 9 G 3/20 6 8 0 G

G 0 2 F 1/1345

G 0 2 F 1/133 5 5 0

G 0 9 G 3/20 6 7 0 N

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月16日 (2016.5.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 4 】

そして、マスターとして動作する画像信号線駆動回路 1 2 では、入力信号 2 0 0 に基づいて、カスケード信号 / 制御信号生成回路 2 6 でカスケード信号を生成し、ゲートドライバー用制御信号生成回路 2 8 でゲート制御信号を生成し、これらを配線部 1 4 を介してスレーブとして動作する画像信号線駆動回路 1 1 に与える。これらは、画像信号線駆動回路 1 1 内のゲート信号 / カスケード信号伝送回路 5 1 を経由して走査線駆動回路 1 3 に与えられる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 6 】

そして、マスターとして動作する画像信号線駆動回路 1 2 では、入力信号 1 0 0 に基づいて、カスケード信号 / 制御信号生成回路 2 6 でカスケード信号を生成し、ゲートドライバー用制御信号生成回路 2 8 でゲート制御信号を生成し、これらを配線部 1 4 を介してスレーブとして動作する画像信号線駆動回路 1 1 に与える。これらは、画像信号線駆動回路 1 1 内のゲート信号 / カスケード信号伝送回路 5 1 を経由して走査線駆動回路 1 3 に与えられる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

図10は、実施の形態2の液晶表示装置10Bにおける画像信号線駆動回路11および12の構成と、信号の流れを示した図である。図10に示すように、マスター選択信号62が与えられたマスター/スレーブ選択回路42は、実施の形態1と同様の動作を行い、マスターとして動作する画像信号線駆動回路12のカスケード信号/制御信号生成回路26で生成されたカスケード信号および、ゲートドライバ用制御信号生成回路28で生成されたゲート制御信号を、配線部14を介して画像信号線駆動回路11に与える。カスケード信号およびゲート制御信号は、画像信号線駆動回路11内のゲート信号/_カスケード信号伝送回路51を経由して走査線駆動回路13に与えられる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0069

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0069】

マスター選択信号62が与えられたマスター/スレーブ選択回路42は、マスターとして動作する画像信号線駆動回路12のカスケード信号/制御信号生成回路26で生成されたカスケード信号および、ゲートドライバ用制御信号生成回路28で生成されたゲート制御信号を、配線部14を介して画像信号線駆動回路11に与える。カスケード信号およびゲート制御信号は、画像信号線駆動回路11内のゲート信号/_カスケード信号伝送回路51を経由して走査線駆動回路13に与えられる。